厨子甕

祖情報募る

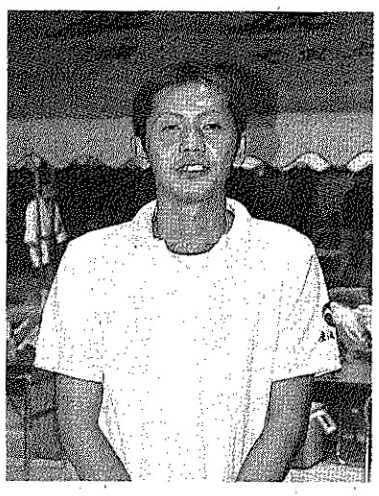
見つかった厨子甕は4点で、1点のふたに王府時代の称号である「筑登之親雲上」の文字や年号の記載があった。市文化課によると、年号から1897年に洗骨された女性の遺骨と推測できるという。同課は今後、専門家の協力を得て詳細に調査する予定。

山入端さんは、古文書や明治時代の戸籍などから系図を確認しているが、文書が残っていない1700年代から1800年代の情報が空白だという。

山入端家は明治時代まで、琉球第二尚氏10代目・尚質王の三男・名護御殿の直系である名護家の清明祭に出席していたという話が名護家と山入端家双方に伝わっており、「名護家との詳しいつながりを知りたい。知っていることがあれば教えてほしい」と話している。連絡先は☎098（948）3389。

いた城郭だった。那覇広域都市計画区域内の旧佐敷町と旧大里村は約96%が農林水産業振興のために開発ができず、若年層流出の歯止めが課題。一方、同計画区域外の旧知念村、旧玉城村は自然や歴史・文化的資源が豊富な地域だが土地利用の規制が緩く、乱開発が懸念されている。

3月の南城市都市計画審議会の答申などを受けて県は、広域的見地から検討。佐敷・大里地域を



大城 範真さん（23）

糸満市座波
角力大会で

ハイサイ

運営どこにも負けない

○…座波青年会長として角力大会の運営を引っ張った。大会前は豪華賞品の準備や会場設営に追われた。当日も深夜までの熱戦後、片付けもこなし「どこにも負けない大会運営」と胸を張った。

選手としては16歳から参加。細身ながら昨年、一般の部で優勝した実力者だ。

「力より技の掛け合い。根性と粘りで戦う姿が角力の魅力」と目を輝かせる。

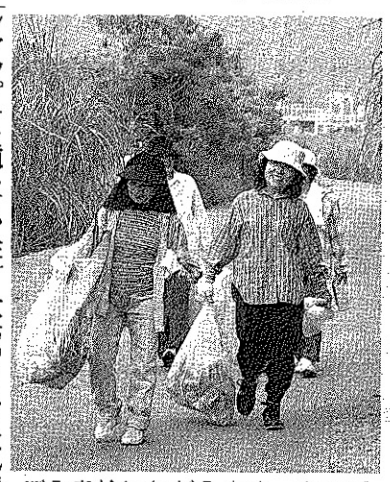
青年会員は20人。綱引き、エイサーや清掃活動と活発に活動している。課題は会員を増やすことで「エイサーも広めながら、もっと地域を盛り上げていきたい」と語った。（糸満）

情報をお寄せください

道も体もすっきり

南城老人ク連佐敷 ウオーキング清掃

【南城】南城市老人クラブ連合会佐敷支部（宮城清助会長）は19日、「ウオーキング&クリーンアップ」と題して、佐敷地域のごみ拾いをしながらウオーキングに汗を流した。



ごみを拾いながらウオーキングに汗を流す会員＝南城市佐敷

敬老の日にちなんで健康づくりと社会奉仕を目的に旧佐敷町時代から続く取り組みで今年で5回目。佐敷福祉作業所の利用者らも参加し、交流を深めながら地域の美化に一役買った。

ゴール地点のシュガーホールでは、めだか保育園の園児が元気なダンスを披露し、会員も拍手を送るなどして楽しんでいた。

宮城会長（75）は「会員からも好評な取り組み。今後もぜひ続けたい」と話した。

女将思い

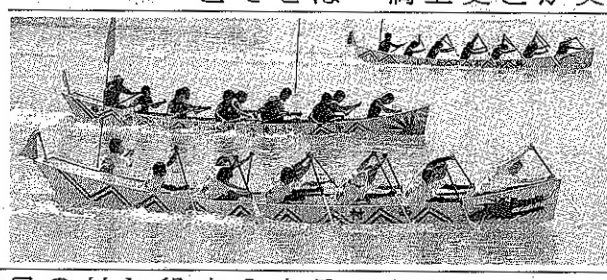
記念事業へ公演

【八重瀬】ことし30年を迎える八重瀬町立白川小学校・幼稚園の記念事業を成功させようと、同校卒業生ら約60人が出演するチャリティー公演（主催・同校30周年記念事業期成会）が22日、八重瀬町中央公民館で開かれた。華やかな琉舞や伝統の棒術、獅子舞などが演じられた。

出演は卒業生の若手実演家有志。幕開けの「かぎやで風」では、中心となって活動する神谷武史さんが30周年を祝う口上を述べ、約300人で満席の会場をわかせた。

期成会の照屋勇会長は「式典に向け、同窓生を中心にさまざまな企画で盛り上げていきたい」と公演の成功を喜んだ。

「かぎやで風」で幕を開けるチャリティー公演＝八重瀬町中央公民館



「沖縄一決定戦」60チームが熱戦

糸満で爬龍舟フェスタ

【糸満】ハーリー沖縄一決定戦と銘打った沖縄爬龍舟フェスティバル2009（同実行委員会主催）が20日、糸満漁港北地区のサザンビーチホテル&リゾート前であった＝写真。1チーム12人で約60チームが出場。快晴の下、鮮やかないさばきを披露し、予選300㍍、決勝660㍍の距離をそれぞれ競った。トーナメント戦の結果は以下の通り。

【男子】①新友会②はまゆう③宝ハーリークラブ【女子】①10倶琉②ぴ～ちくぱ～ちく③ピンクパンダ

「人材育成して」豊見城市に寄付

富士開発

【豊見城】分譲マンションの開発などを手掛ける富士開発（横浜市）の小尾一社長＝写真左から2人目＝と伊敷浩一沖縄支店長が17日、豊見城市役所に金城豊明市長を訪ね、市に100万円を寄付した。同社による市への寄付は昨年に続き2度目。小尾社長は「人材育成に役立ててほしい」と話した。

贈呈式で小尾社長は「子どもは宝。これから羽ばたく子どもたちのために使ってほしい」と述べた。

富士開発は、同市豊崎に12階建て88戸のマンションを2棟建設。また2009年4月には同所で都市型リゾートホテル「ホテルグランビューガーデン沖縄」を開業した。

新報中部ガイド
No.183
毎月第2・4木曜日掲載
※次回の掲載予定は10月8日（木）となります。
広告の申し込みとお問い合わせは
㈱琉球新報開発 中部営業所
〒904-0014 沖縄市仲宗根町25-6
〈琉球新報中部支社内〉
☎098-938-3535
FAX 098-938-8868
活性化シリーズ！中部から発信!!
暮らしに便利な生活情報、お仕事に役立つ快適情報

住まいを明るく快適にリフレッシュ!

自然素材の家 オープン見学会

【健康住宅を体感】住んで健康になる住まいの神髄をぜひ一度ご覧ください！

清活畳® SEIKATSU-TATAMI

竹炭入り「清活畳」で
清々しい室内環境が

幻の漆喰® MABOROSINO-SIKKUI

古い知恵が
今に生きる

音響熟成木材® ONKYOJUKUSEI-MOKUZAI

心と体を癒し、